

---

# 経済 TOPICS

No. 212  
(2023年3月23日)

## 景気ウォッチング（要旨）

- 日本 … 消費の緩やかな持ち直しと雇用の改善傾向が続いているものの、生産がやや弱めの動きとなっているほか、輸出、設備投資が横這い圏内の動きにとどまっていることから、全体としては持ち直しの動きが足踏みしている。この間、資源・食料価格の高騰に伴う物価上昇に加え、欧米の一部銀行の経営破綻などの影響が懸念されるなど、先行き不透明感が強まっている。
- 米国 … 中古住宅販売が低水準で、生産も弱めの動きが続くなど、金融引締めの影響が徐々に強まっているが、個人消費や設備投資が堅調を維持し、雇用もタイトな状態が続いていることから、全体としては緩やかに回復している。但し、シリコンバレー銀行の破綻などの影響が懸念されている。消費者物価は、エネルギー価格の前年比効果などからピークアウトしているが、サービス価格の上昇圧力が続いている。
- 欧州 … 生産は底堅いものの、輸出が減少に転じ、消費や設備投資の前年比プラス幅が縮小するなど、持ち直しの動きが弱まっている。この間、クレディ・スイス銀行の経営問題の影響が懸念されている。消費者物価は、エネルギー価格は落ち着いてきたものの、その他の物価上昇が続いているため、インフレが継続している。
- 中国 … 生産は堅調ながら、輸出が減少傾向にあるほか、消費や不動産開発投資の低迷が続いていることから、全体としては減速し続けている。この間、景況感はゼロコロナ政策の転換により改善している。



京都銀行グループ

京都総合経済研究所

---